

## 指導者用資料 鑑賞シート

モチーフの様子やイメージから鑑賞を深めるアイデアシートです。子どもたちへの問いかけにご活用ください。

### 描かれているもの、場所

- ・何が起こったのだろう？
  - 何か事故が起きた？爆発した後または火事。
  - 原爆が落とされた後のようす。広島？長崎？
    - 画面右側に肘をついて下を向いている人、頭が地面についている
    - 水を求めている、または水を飲もうとしていたのか？
- ・たくさんの人がある。どのような状態、状況かな？
  - うつ伏せになっている人、あおむけの人、血を流している人。
  - 画面上部と左下に重なっている人がたくさんいる。顔から流血している人がある。死んでいる？
  - 中央に子どもを抱えて片膝ついている人がある。
    - 親子かな？母親で自分の子どもかも。
    - 顔を右手で触っているのは息をしているか確かめている？
  - 骸骨がある。
    - 時間が経ってしまったのか？
  - 猫がいる。
    - 長崎の街の特徴を表現している？
  - 馬のおもちゃがある→子どもが遊んでいたのかも。
- ・表面の白いものは何を表しているのだろう？
  - 人の魂、霧・もや、光、水面、水面の光
- ・描かれている人の表情はどうだろうか？
  - 顔にはあまり表情がない、目に力がない、比較的きれいな顔
  - 手や指先に感情（辛い、苦しい）をのせているように見える。
- ・描かれている人物の年齢は？
  - 子どもや年配の人、女性しかいない、屈強な男性や青年の姿がない。
  - 男性がいないのは戦時中だからか？



### 素材・制作方法

- ・何を使って描いたものだろうか？
  - 黒い線は木炭？墨？色の濃淡がわかる。
  - 筆を使って描いている。
  - にじみやぼかしの技法がみえる。
  - 下絵のあとがない。何枚も下絵の練習をして描いたのかも。
- ・どんな色がある？
  - 黒、グレー、赤や朱色、白、ベージュ（紙そのものの色？）
- ・画面右下に製作年と二人のサインがある。
  - 1985年、夏 丸木位里・俊
  - 二人が共同制作したもの？

### 構図

- ・画面中央に母と子が描かれている。
  - 本作品の中心となっているモチーフである。
- ・中央の母子を取り巻くように周りに亡くなった人や骸骨などが配置されている。
- ・画面上部には赤い色が炎を想起させる。
  - ・その下に4人並ぶ人の顔がある。
- 手で顔を覆っている人、口を開けていき苦しそうにする人が横一列に配置されている。
- ・画面上部に横たわっている人が長く描かれている。
  - 画面が横に伸びていく感じと左右画面の先にも風景が広がっていく感じ
- ・仰向けやうつ伏せになっている人が重なるように描かれている。
  - 多数の犠牲者が出たことがわかる。
  - 逃げ惑う様子、人々が右往左往していたことが想像できる。

丸木位里・俊《母子像 長崎の図》1985年  
墨、岩絵具・紙 201.0×248.5cm、長崎県美術館蔵